

ハッピートーク～市長と語る子育て交流会～ 第4回 議事録

開催日時 平成21年9月6日（日） 午前10時～11時

開催場所 友部保健センター

参加者 4名

市側参加者 山口市長、保健福祉部長、教育次長、子ども福祉課長、健康増進課長、少子化対策室長

《フリートーク（意見交換）》

1. 保育ママ制度について
2. 食物アレルギーの学校給食の対応について
3. 通学路の問題について
4. 出産一時金について
5. 奨学金制度の廃止について
6. マル福制度について
7. 市民プールについて
8. 小児科がほしい
7. 小児科や夜間に診てもらえる医療機関がほしい

《内容》

1. 保育ママ制度について

【意見等】

子育てママという急な用事などで子どもを預けられる制度があると聞いているが、笠間市ではどのようになっているか。

【回答】

今おっしゃったのは、保育ママ制度であると思います。茨城県で保育所の待機児童をなくすためにある制度で、実際には保育所に預けるお子さんが対象で、保育士の資格を持っている方が自宅で預かりますが、預かる時間も決まっていますので、要件としては、保育所と同じ、急なときに預けられるということではありません。

一時的に預けたいという場合は、子育てサポートというサービスがありまして、笠間でもやっています。社会福祉協議会に委託をしており、利用には、提供会員と利用会員の登録が必要です。PR不足があるかと思しますので、今後、市と受託している社協でPRをしていき、会員を拡大していきたいと思えます。

2. 食物アレルギーの学校給食の対応について

【意見等】

子どもに食物アレルギーがある。来年小学校に上がるが、給食に心配がある。今保育所ではある程度対応していただいているが、6年間、毎日あるので心配である。

全国の中には、1人2人でも、食物アレルギーがある子どものために、その子専用の鍋やフライパンで調理している学校もあると聞いている。市内の小学校の中には、対応ができないので、給食の時間にお母さんが毎日行って、「これはダメ。これは食べてもいい。」とそばについている。子どもはわかっているが、他の子どもがわからず混ぜることがあれば、命の危険にも関わることである。

私としては、毎日とは言わなくても、「入ってくる食材によっては対応できないので、そのときはお弁当にしてください」などの対応をしていただければと思っている。今保育所では、そういうふうにしていただいている。

【回答】

どういう対応ができるのか、入学を予定されている学校に確認、相談をしまして、後日ご連絡を差し上げたいと思えます。

友部地区は、給食センター方式ではなく、自校方式なので、どんな対応ができるかよく話してみます。

3. 通学路の問題について

【意見等】

先日、通学路上からの落下物がった。通学路で木の枝が上から落ちてきた。山を掃除する人がいなくなり、枯れ枝が本当に多くなった。子どもが実際に通学しているときだったら、本当に大変なことになったと思う。

【回答】

後ほど詳しい場所をお聞きして、担当課に現地を確認させます。

3. 出産一時金について

【意見等】

年が離れて、3人目の子どもが来年生まれるが、出産一時金に変更になったと聞いている。金額が変わると、事前に登録しておけば、病院には出産一時金との差額を支払えば済むようになったと最近知ったが、具体的にはどのようにすればいいのか。

【回答】

具体的な手続きは後日担当職員からご連絡します。

制度的には、政権が変わりましたので、今後も国の制度については変更の可能性は大いにあります。市民の皆さんには、情報が入り次第、広報紙やホームページで正確にお知らせしていきたいと思っています。いろいろ変わってくると思っていますので、皆さんも注意深く情報を取り入れる努力をしていただきたいと思います。

4. 奨学金制度の廃止について

【意見等 1】

下の子が今度小学1年生で、上の子が今高校1年生です。授業料免除と奨学金制度を利用しているが、笠間市でやっている奨学金制度が今年度で廃止されるというお知らせがきた。来年度からその制度は、間違いなく、なくなってしまうのか。

【回答 1】

今ある奨学金制度は、合併前の笠間市でお金を寄付してくれた方がいて、それを毎年くずして制度を運用してきましたが、その原資がなくなってしまったので、奨学金制度をやめるということになりました。利用されている方からすれば、制度が廃止されるのは、困るということだと思いますが、今後は県や国などの奨学金制度を活用していただきたいと思います。

【意見等 2】

それは、どこに相談するのですか。

【回答 2】

学校に相談してください。

ただ、先ほどの話でもありましたが、政権が変わり、公立高校の授業料の無料化の話もありますが、見通しはまったく立っていません。

5. マル福制度について

【意見等 1】

来年小学生に上がる子どもがいるのですけれど、来年の3月31日でマル福が切れてしまいます。できれば、小学生までマル福制度を拡大してほしい。

【回答 1】

これは県の制度ですが、今回の知事選挙のマニフェストで、小学校3年生までマル福制度を拡大するというものを出しています。来年4月から実施すると明言していますので、そうなると思います。

【意見等 2】

所得制限も撤廃してほしい。

【回答 2】

笠間市では、県の所得制限に基づいて、制限を設けています。所得については、実際はかなり格差があるので、所得制限を撤廃して、はたしていいものかどうか疑問に思うところもあり、実際に撤廃すると市の財政負担もかなり大きくなります。

笠間市は、あえてPRすることではありませんので、PRはしていませんが、他の自治体に比べマル福の対象が広いです。

6. 市民プールについて

【意見等】

笠間市民プールですが、あれはどうなるのか。新しくするという事はないのか。

【回答】

築30年以上経ち、水漏れなど老朽化が激しいということで、昨年から使っていません。近々取り壊す予定です。

新しく造ることは正直言って考えていません。代替措置としては、小学校のプールを開放しています。市民プールと小学校のプールでは構造が違いますので、まったく代わりになるとは思っていません。プールは年間の利用日数が限られていますので、整備する上では、優先順位から言うとどうしても低くなります。遊び方の多様化もあると思います。

市内に2か所プールがあります。通年利用できるごみ処理施設のところと夏季のみですが岩間海洋センターのプールです。ぜひ、利用してください。

7. 小児科や夜間に診てもらえる医療機関がほしい

【意見等1】

市内に安心してかかれる小児科がほしい。むずかしいとは思いますが。

夜間診療も必要です。夜に子どもに泣かれるとどうしたらいいか困ってしまう。

【回答】

小児科専門というところはないですね。

夜間救急については、今年、笠間市で「かさま健康ダイヤル24」という24時間、年中無休で、電話で対応するものがスタートしましたので、ぜひ、ご利用いただきたいと思えます。お子さんが泣いたり、熱が出ていたりしても、実際病院に行くとはいいことではないとも思えますので、病院に行く前の相談として、利用していただければと思います。

【意見等2】

以前、夜間に子どもがけがをして救急センターに電話をしたら、専門の先生がいないということで、十王町の方の病院を紹介された。とても行けなかった。それでも、あちこち電話をして、やっと市内の診てくれる病院を見つけたことがある。